

平成 22 年度

事 業 報 告 書

自 2010 年 4 月 1 日 至 2011 年 3 月 31 日



財団法人 札幌市青少年女性活動協会

I. 一般概要

財団法人札幌市青少年女性活動協会は、グループという『小社会』での活動を有効に活用し、グループ活動の指導者の養成や野外活動等のプログラムの企画・指導や青少年女性に関する諸施設の管理運営などを通じて、『青少年の健全育成と青少年女性の社会参加』を促進することを目的に、様々な事業活動を展開している。

平成 22 年度は、協会設立 30 周年を迎える節目の年であり、新たな事業に積極的にチャレンジすることや自主事業の拡充や他企業との連携事業に取り組むことと併せて、従前より指定管理者であった施設の 2 期目が開始された年であった。

また、平成 20 年 12 月 1 日に公益法人等の新制度が施行となり、現在、特例民法法人である当協会は、平成 25 年 11 月末の移行期間終了までに公益財団法人または一般財団法人のいずれかに移行する必要があることから、この後を考えるうえで重要な 1 年であった。

このような中、財団法人札幌市青少年女性活動協会では、新規事業（指定管理施設）の 2 事業（青少年山の家・北方自然教育園）を獲得し、更に幅広い事業を展開するとともに、グループ活動や地域・企業との協働事業などを通じて、人情あふれる地域社会の確立を目指すべく、効果的な事業運営に努めた。また、こども情報紙「あ・そ・ぼ」を年 6 回発行やホームページのリニューアルを実施するなど、広報事業にも力を入れ、当協会の事業コンテンツを積極的に発信することで、様々な層から認知度が広がったと実感できる年でもあった。

財団法人札幌市青少年女性活動協会は、今後も引き続き、様々な能力と専門性を高めていくことで、公益法人としての使命を自覚しながら社会に貢献する事業活動を展開していくこととする。



II. 事業報告

1. 事業実施状況

・平成22年度事業基本方針

事業基本方針	
(1)	グループワーク等を通じて、青少年の健全育成と男女共同参画社会の実現に寄与する。
(2)	市民、地域、企業、関係機関とのネットワークをより強化し、協働を推進とともに、専門性を生かした先駆的な事業に取り組む。
(3)	市民の受益と負担の観点を探求し、自主事業の拡大を図り、自主財源の確保により経営の自立性を高める。
(4)	市民ニーズに対応した効率的・効果的な事業を開拓し、経費の節減に努める。

2. 施設管理運営

(1) 自主事業 1施設

- ・滝野自然学園

(2) 指定管理 116施設

- ・若者支援施設 6施設
- ・児童会館 104施設
- ・青少年山の家 1施設
- ・定山渓自然の村 1施設
- ・北方自然教育園 1施設
- ・札幌エルプラザ公共4施設 1施設
- ・こども劇場 2施設

(3) 受託 67施設

- ・ミニ児童会館

3. 各課（各施設）事業実施報告

参加人数及び利用人数等の具体的な状況

1) 企画事業課（指導事業：自主事業・受託事

(寄附行為第25条第1~5・7号に基づく事業)

■自主事業

(延べ)

事業区分	事業名	時期・回数	参加人数
交流事業	Music Camp In TAKINO 2010	11月6日~7日 (1回)	21名
小計(a)			21名

■受託事業

(延べ)

事業区分	事業名	時期・回数	参加人数
あそびのキャラバン	手稲区合同行事「巨大迷路2010おはなしの国ヘレッツ!ゴー!」迷路製作業務 (財団法人札幌市青少年女性活動協会)	7月19日(1回)	1,817名
	「厚別区子どもまつり」迷路製作業務 (厚別区子ども連絡協議会)	9月5日(1回)	1,700名
都心にぎわいづくり関連事業	札幌都心にぎわいづくり事業「だい・どん・でん」 (札幌都心にぎわいづくり事業実行委員会)	9月3日~5日 (1回)	150,000名
さっぽろ雪まつり雪像制作業務	《さっぽろ雪まつり関連事業》 ① 第62回さっぽろ雪まつり大雪像制作に伴う職員の派遣業務 (さっぽろ雪まつり実行委員会)	10月1日~ 2月28日(1回)	*
	② 札幌市大通5丁目大雪像制作団指導業務 (NPO北海道の地域文化を守る会)	11月18日~ 2月10日(1回)	*
	③ つどーむ会場実施業務 (株式会社ノヴェロ)	12月1日~ 2月13日(1回)	*
	④ 第62回さっぽろ雪まつりつどーむ会場「雪だるマン制作業務」 (株式会社ノヴェロ)	2月1日~ 5日(1回)	*
	⑤ 第62回さっぽろ雪まつりつどーむ会場運営業務 (株式会社ノヴェロ)	2月6日~ 13日(1回)	*
	⑥ ウエルピアひかりのぴかりん体操出演業務 (株式会社ノヴェロ)	2月7日~ 13日(1回)	*
	⑦ 円山動物園協賛会場指導業務 (札幌市円山動物園・円山動物園おもてなしプロジェクト実行委員会)	2月7日~ 13日(1回)	*
交通資料館まつり	交通資料館まつり (財団法人札幌市交通事業振興公社)	7月17日(1回)	2,342名

■受託事業

(延べ)

事業区分	事業名	時期・回数	参加人数
各種指導事業	「土曜はコトニ」実行委員会運営等業務（札幌市）	通年	7,000名
	国営滝野すずらん丘陵公園オープニングイベント（札幌市教育委員会）	5月22日（1回）	1,454名
	21世紀東アジア青少年大交流計画事業（JICE）	5月27日～6月1日（1回）	47名
	札幌第一幼稚園講師派遣業務	6月12日（1回）	1,854名
	水道展2010（財団法人札幌市水道サービス協会）	6月26日・27日（1回）	9,893名
	札幌市下水道科学館フェスタ（財団法人札幌市下水道資源公社）	9月11日・12日（1回）	12,497名
	さっぽろオータムフェスト2010（株式会社プランニング・ホッコー）	9月17日～10月4日（1回）	*
	ウエルピアひかりのぴかりん体操（株式会社プランニング・ホッコー）	9月18日～20日（1回）	*
	さっぽろ市場まつり（株式会社ノヴェロ）	9月26日（1回）	2,000名
	「ミニさっぽろ2010」テント設営業務（株式会社ノヴェロ）	10月2日・3日（1回）	*
	水道記念館秋祭り（財団法人札幌市水道サービス協会）	10月11日（1回）	1,276名
	Sapporo Unifes 2010 札幌合同大学祭（札幌合同大学祭事務局）	10月23日・24日（1回）	30,000名
	「ターフイルミネーション」におけるおもちゃ工作コーナー運営業務（株式会社電通北海道）	11月23日（1回）	3,000名
	札幌市下水道科学館魅力度アップ座談会業務（財団法人札幌市下水道資源公社）	12月10日～3月29日（4回）	28名
	札幌市下水道科学館ウィンターフェスタ2010パントマイム実施業務（財団法人札幌市下水道資源公社）	12月11日・12日（1回）	50名
	「ふゆトピア2011」制作・運営業務（株式会社ノヴェロ）	1月17日～22日（1回）	5,000名
	西区文化フェスタ2011若者企画運営指導業務（特定非営利活動法人コンカリーニョ）	2月23日～27日（1回）	1,000名
	SORAこそだてフェスティバル2010巨大迷路制作・撤収業務（株式会社ボンシンク）	12月17日～18日（1回）	4,000名
	大通公園わくわくウィンターランド（株式会社ノヴェロ）	2月16日～3月13日（1回）	10,000名
小計（b）			244,958名
合計（a+b）			244,979名

「*」：参加人数について主催者未発表等の理由により未加算（前年度180,234人／前年度比135.9%）

2) 企画事業課（指定管理事業：若者支援施設 6 館）

(寄附行為第 25 条第 1~7 号に基づく事業)

1. 札幌若者支援総合センター

事業区分	事業内容	時期・回数・人数等
自立支援事業	さっぽろ若者サポートステーション事業 若年無業者等の相談窓口を開設。相談内容に応じて、各種プログラムや外部専門機関を活用しながら自立へのサポートを行う。 定時制高校へのスタッフ派遣や、児童会館を利用した学習支援など先駆的な取り組みが評価され、内閣府主催の専門家向け研修に講師依頼をされるなどの実績を得る。	15,439 名

2. 札幌市中央若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・人数等
交流促進事業	もちつき交流会 子ども、若者、高齢者と世代間の交流を図ることができる、全世代が楽しめる交流会。	2月6日 104名
記念イベント	閉館イベント 平成 23 年 3 月 31 日の閉館を前に 47 年の歴史がある施設を写真展示、スライドショー、記念撮影会などで振り返った。	3月26日 94名

3. 札幌市アカシア若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・人数等
交流促進事業	バレンタインクッキング講座	1月27日・2月3日 13名
社会参加促進事業	紅白歌合戦	12月12日 160名
受託事業	第 31 回鉄西夏まつり	7月23日 268名

4. 札幌市ポプラ若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・人数等
交流促進事業	演劇祭 ENGINE-LINK 登録団体（若者団体ネットワーク）の 2 団体の劇団と地域住民を対象に児童向けの劇を企画した。	1月15日 138名
社会参加促進事業	白石区ふるさとまつり若者プロジェクト 青年が地域住民と共に企画・運営することで世代間交流・相互理解を深め、若者の経験・体験の場をつくることを目的に実施。	7月18日～19日 48名

4. 札幌市豊平若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・人数等
交流促進事業	ENGINE-LINK 情報交換会	6月26日 550名
社会参加促進事業	定山渓のホットを探そう!お泊り会 「地域主催事業への共同企画・運営により、若者の地域への関わりを通じて地域の担い手となる人材育成を目指す」ことを目的に実施。	2月26日～27日 若者ボランティア3名

5. 札幌市宮の沢若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・人数等
交流促進事業	Youth Art2010 芸術屋台村 札幌で活躍するアーティストの発表の場として、また児童会館西区ブロックと協力し過去最大の来場者を記録。	9月26日 5,500名 (出展者9組、屋台7店舗、ステージ4組)
	YOUTH CUP 2010 バレーボール大会 若者サポーターと一緒に企画、運営	6月13日 59名

【各施設利用人数】

(単位：人)

区分	総合	中央	アカシア	ポプラ	豊平	宮の沢	合計
自立支援事業	12,733	8	0	0	0	0	12,741
	若者	10,739	8	0	0	0	10,747
	一般	1,994	0	0	0	0	1,994
交流促進事業	2,081	567	406	629	531	6,393	10,607
	若者	1,303	510	383	629	524	791
	一般	778	57	23	0	7	5,602
社会参加促進事業	1,170	7,917	1,031	886	667	12,200	23,871
	若者	533	3,895	272	872	648	1,501
	一般	637	4,022	759	14	19	10,699
ロビー利用	2,785	3,841	5,899	4,914	2,933	24,543	44,915
	若者	2,650	3,398	4,529	4,117	2,564	22,199
	一般	135	443	1,370	797	369	5,458
貸室利用	12,380	30,210	33,724	20,829	17,055	56,197	170,395
	若者	9,907	24,481	24,957	16,781	13,970	27,051
	一般	2,473	5,729	8,767	4,048	3,085	53,248
合計	31,149	42,543	41,060	27,258	21,186	99,333	262,529
	若者	25,132	32,292	30,141	22,399	17,706	51,542
	一般	6,017	10,251	10,919	4,859	3,480	83,317

3) こども育成課（指定管理事業：児童会館 104 館
受託業務：ミニ児童会館 67 館）

(寄附行為第 25 条第 1~7 号に基づく事業)

事業区分	内容	時期・回数・参加人数等
地域連携・関係団体 ・施設間等協働事業	<p>地域との連携事業、関係機関との連携、地域連絡会の設置状況、学校および幼稚園等の評議委員等委嘱状況調査を実施した。</p> <p>今後は、「地域向けおたよりの発行による児童会館周知」「ボランティア交流会」「平成 25 年度までに全児童会館での地域連絡会の設置」により、子ども自らが地域との結びつき、子どもにとって地域が見守ってくれているという安心感を感じられるよう取り組む必要がある。</p>	地域主催事業への参加 90 館、261 件 地域との共催事業 71 館、310 件 児童会館主催地域連携事業 86 館、2,640 件 学校等評議員委嘱 28 館、29 件 外部委員(まちづくり協議会、スクールガード等) 66 館、110 件
クラブ活動・サークル活動事業	<p>「環境省エコクラブ」に登録</p> <p>札幌市内のエコクラブ交流会に参加した。その他、環境プラザへの施設見学、環境出前講座などの実施をとおして環境について考える機会を提供している会館が多く見られる。</p>	中の島、宮の沢、あいの里ひがし等
伝統・芸術文化・伝承 ・芸術活動事業	<p>「体験の風をおこそう 推進月間事業」</p> <p>伝承遊びと表現活動体験 2010</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けん玉体験ワークショップの開催 ・表現活動体験ワークショップの開催 <p>野あそびクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木のぼり体験会 ・ウインターキャンプ ・もりあそクラブ(公園、川、キャンプ) <p>サイエンス学園シルクワーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学教室(水の不思議、摩擦とはなんだろうほか) ・科学フェスティバル ・サイエンスファクトリー(音の不思議ほか) ・科学キャラバン(移動型科学教室) <p>PERFORMING ARTS FOR KIDS 2010</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主制作映像「メビウスフィルム」(情報テレビ番組を子どもたちで作る) ・キッズ元町☆人形劇 <p>読み語り推進事業</p> <p>(読み語り入門講座とグループ活動支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み語り入門講座 ・読み語りボランティアフォローアップ 	10月16日(土) ~10月29日(土) 7月10日(日) ~2月26日(土) 6月12日(土) ~12月18日(土) 5月26日(水) ~3月21日(月) 10月1日(金) ~2月16日(水)

事業区分	内容	時期・回数・参加人数等
季節・歳時記事業	日本の四季の移り変わりや自然や風土を感じる心を育むことを目的に、豆まき、ハロウィンや雪まつりなどを行った。	703回 44,062名
ボランティア育成及び活用事業	<p>YOU・遊ボランティア登録状況</p> <p>YOU・遊ボランティアの登録数については、平均すると1館あたり13名程度の登録となっている。しかし、未登録ボランティアも多く存在しており、登録ボランティアに移行していく必要性を感じる。</p> <p>児童会館ではボランティアのサポートがある中で日々の活動が充実できていることが読み取れるが、中・高生事業におけるボランティアは全体の2.1%と少なく、今後検討が必要である。</p>	1区あたり平均73事業展開 42,460名 (読み聞かせ7,290名、幼児向け23,270名、昔遊び等11,094名、中高生事業806名)
スポーツ・あそび事業	体力増進・スポーツ	1,505回、26,950名
危機管理事業	<p>避難訓練</p> <p>火災等に備えて、子どもたちとともに訓練を実施した。</p> <p>避難場所の確認等</p> <p>地震等の大災害の際の緊急避難訓練場所の確認を保護者と行った。</p> <p>平成23年度については、訓練実施マニュアルを作成し、各館の実施形態について統一を図る。</p> <p>不審者訓練</p> <p>不審者チェックシートによる点検を全館で実施するとともに、事故を未然に防止するための知識や技術の習得に努めた。</p>	104館中101館で実施 (残り3館についても日常での声掛けなどを通して注意喚起を行っている)
乳幼児と親を対象とした事業	<p>子育てサロン利用者へのアンケートの提示 (全館共通項目)</p> <p>各区共通して、乳幼児事業の実施回数の増、学校の長期休業日の開催、冬期間乳幼児が集う公的な場所を居住区内に求める声が多く聞かれた。施設面では、駐車場を希望する声、乳幼児用のトイレ整備についての要望も聞かれた。</p> <p>トイレ整備などのハード面については札幌市へ伝える。乳幼児事業のソフト面について利用者からいただいた要望は、各館で実施できることからひとつずつ応えていくたい。</p>	4,026回 幼児:129,590人、保護者:115,218人
中高校生夜間利用促進事業 (受託事業)	近隣中学、高校へのPRやさまざまな広報活動の成果もあり、利用者は増加傾向。	9,981回 中学生:36,210人 高校生:49,285人

事業区分	内容	時期・回数・参加人数等
読書活動促進事業	読み聞かせ	1,207回、26,402名
全館統一事業	<p>プルタブ大作戦 札幌市麻生球場、札幌市北福祉センター、国営滝野すずらん丘陵公園、札幌市青少年山の家に寄贈。</p> <p>ごみゼロ事業とラブアース・クリーンアップ in 北海道 2010への参加 地域のごみ拾い、リサイクル工作、ゴミについての勉強会などを内容とするごみゼロ事業を全館で実施。</p>	3,299kg、8台
	<p>買い物ゲームの実施 ごみの減量をテーマとした学習会を実施。ごみについて身近に考えるきっかけとなった。</p>	95館（日常活動でごみゼロ事業を行っている会館を除く） 3,563名 380kg回収
	<p>買い物ゲームの実施 ごみの減量をテーマとした学習会を実施。ごみについて身近に考えるきっかけとなった。</p>	6館
職員研修	<p>各区の障がい児研修から親支援・子支援を探る 職員のための意見交換会を計画的に実施し、活動協会の掲示板を用いて報告が出されている。 今後は、各ブロックからの報告書の共通点や問題点を総合的に整理し、共通理解を図ること、保護者のケア・障がいのある子どもたちへのケアに当たる職員の巡回についての工夫が求められる。</p>	通年実施
利用者アンケート	<p>子ども（小・中・高校生）に対してのアンケートの実施 利用者満足度については、次の8つの項目の合計という形で定義した。「満足度」「運営への参画」「コミュニケーション」「遊び」「広報」「読書」「学習」「接遇」これらをレーダーチャートのように表示することで、何がよくて何が足りないのか確認しやすくなった。</p>	利用者満足度 72.3% ・80%以上「満足度」「接遇」 ・77.9%「読書活動」 ・62.8%「学習」 ・50%台「広報」
児童クラブ	<p>「子どもの育ち」を視点においた、保護者と共に運営する児童クラブの方向性を探る 児童会館50館ほどで「クッキング」「工作会」「児童クラブ員活動発表会」「日常活動のDVD上映会」「スポーツ大会」「館長から叱り方のポイントなどの講演」のように、保護者も参加できるプログラムを実施している。 平成23年度は「保護者の職業を生かした」保護者ティチヤーの発掘・保護者会の発足などから一步進む活動が望まれる。</p>	平成22年4月末日現在の在籍数：8,493人 平成23年3月末日現在の在籍数：8,268人

【利用状況】

(人)

区分	開館日数 及び回数 (延べ数)	人 数	利 用 人 数 の 内 数					
			幼児	低学年	高学年	中学生	高校生	一般
児童会館	30,865	2,268,151	215,956	1,233,895	292,620	116,460	74,513	334,707
ミニ児童会館	17,710	802,451	5,105	648,281	133,724	941	238	14,162
占用利用	13,131	212,808	10,855	42,089	46,131	20,668	6,118	86,947
総 利 用	3,283,410	3,283,410	231,916	1,924,265	472,475	138,069	80,869	435,816

総利用人数(前年度3,154,715人・前年比 104.07%)

(児童クラブ在籍数)

(人)

区分	平成22年4月末日現在の在籍数							延べ 入会	延べ 退会	平成23年3月末日現在の在籍数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
在籍人数	3,297	2,977	2,157	28	14	20	8,493	9,521	1,253	3,440	2,849	1,915	29	17	18	8,268

4月末日現在の在籍数の比較(前年度8,344人・前年比101.78%)

(学校からの直接来館届出数)

(人)

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
クラブ員の兄姉	0	0	15	309	172	98	594
特別支援学級等	2	7	9	8	7	8	41
特認校	48	21	30	11	17	4	131
計	50	28	54	328	196	110	766

(前年度829人・前年比92.40%)

(障がい児受け入れ数)

(人)

内訳

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	クラブ	直来
普通学級	77	67	43	26	13	12	238	174	64
特別支援学級	40	34	58	46	46	45	269	113	156
特別支援学校	0	3	0	1	1	0	5	3	2
計	117	104	101	73	60	57	512	290	222

(前年度468人・前年比109.40%)

4) こども事業課（自主事業：こども関連事業）

(寄附行為第 25 条第 1・3・4 号に基づく事業)

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
社会連携事業	こども基金事業 <ul style="list-style-type: none"> ・寄付事業：寄付金の受入れ ・助成事業：応募団体への事業助成 	8 企業・23 個人 3 事業
	丘珠空港活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> 丘珠空港主催のイベントへの事業協力 	5 月 7 日（金） 参加人数：25 人
	JTB 北海道関連事業 <ul style="list-style-type: none"> JTB が主催する道外観光客向け事業の協働実施（トワイライト ZOO、まるごと北海道） 	1 月 16 日（日） 参加人数：83 名
	円山動物園ナイトキャンプ活動協会主催事業 <ul style="list-style-type: none"> 動物園内で宿泊（1 泊 2 日）をし、動物を通して、飼育員から命の尊さなどを体験する事業（児童会館職員などの対応） 	7 月 12 日～8 月 27 日 (全 15 回) 参加人数：322 名 (前年比 90%)
	フレフレ ZOO <ul style="list-style-type: none"> 円山動物園の動物たちが食べる野菜の栽培を児童会館の来館児童が園内の畑で栽培していくことで、命のつながりや大切さを体感させていく事業（東区：市川造園様より協賛） 	5 月 15 日～9 月 19 日 参加児童会館：72 館
啓発事業	商店街活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> 札幌商工会議所札幌駅北口支所主催の「こども記者が行く～あいの里のお店を取材～」に職員を派遣。事業企画を含めて協働。 	10 月 2・12・23 日：全 3 回 参加人数：30 名
	講演会 <ul style="list-style-type: none"> 夢はかなう！こどもの夢のサポートの仕方 一輪車世界大会で世界チャンピオンを誕生させた児童館館長を迎えて、子どもたちの可能性を引き出す大人のあり方などについて、実技講習などを交えて実施 	1 月 15 日 参加人数：127 名
広報事業	こども情報紙「あそぼ」	年 6 回（各 10 万部）発行
	DVD 制作 <ul style="list-style-type: none"> DVD 「さっぽろのミニ児童会館」を作成 	
	きょうかいナウ・フラッシュ <ul style="list-style-type: none"> ・社内報の発行 ・協会事業の様子を写真等で紹介 	毎月 1 回：全 12 回 全 159 回発行
調査・研究事業	子ども関連事業 <ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンにおけるセミナー事業など 	全 49 回
指導事業	各種指導業務 <ul style="list-style-type: none"> 発寒幼稚園体育指導、専門学校レク指導講座等講師派遣、連携事業（ハウス食品） 	*

5) 野外活動課（指導事業：野外活動事業、自主運営施設：滝野自然学園）

(寄附行為第25条第1~7号に基づく事業)

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
【指導事業】 野外活動事業	わくわくカヌーキャンプ 洞爺湖財田キャンプ場にてカヌーとキャンプの指導	1泊2日×2回 90人
	札幌市野外活動指導員研修会 札幌市教育委員会主催の指導者養成事業における講義・実技指導	通年 210人
	札幌市アタックキャンプ 中学生を対象としたキャンプでの指導	夏・冬2回 112人
	札幌市アタックキャンプ指導者会議 上記キャンプ事業に従事するボランティアスタッフへの指導及び助言	28回 615人
	さぽーとさっぽろ親子レク 洞爺湖財田キャンプ場にてカヌーとレクリエーションの指導	1回 81人
	留学生交流センター事業 滝野自然学園にてアウトドアクッキングの指導	1回 82人
【自主運営施設】 滝野自然学園	たきの森のようちえん 3歳以上の幼児とその保護者を対象とした自然体験活動	19回 412人
	たきの森のがっこう 小学校1年生から6年生までを対象とした自然体験活動	10回 221人
合計		1,823人

■利用人数

	人 数(H21)		人 数(H22)	
	延べ人数(人)	実人数(人)	延べ人数(人)	実人数(人)
4月	75	50	213	166
5月	320	283	276	276
6月	323	269	540	446
7月	1,153	818	1,171	920
8月	1,066	767	695	470
9月	207	191	459	263
10月	222	199	228	177
11月	179	177	184	184
12月	218	170	101	80
1月	466	367	571	392
2月	290	244	161	118
3月	263	252	290	145
合計	4,782	3,787	4,889	3,637

■利用団体数

	H21	H22
4月	1	3
5月	6	6
6月	8	6
7月	16	14
8月	9	9
9月	5	9
10月	9	5
11月	4	5
12月	5	4
1月	8	11
2月	8	5
3月	3	3
合計	82	80

6) 野外活動課（指定管理事業：青少年山の家）

(寄附行為第25条第1~7号に基づく事業)

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
学校・一般利用事業	<p>利用団体受入れ対応 休館日9日間を除く356日において、利用団体の活動を支援。</p>	延1,302団体 1日平均3.66団体
	<p>環境教育 森もりキャンプ 環境をテーマとした小学1~6年生の異年齢交流キャンプ</p>	2泊3日1回 56人
	<p>長期自然体験 トライキャンプ 小学4~6年生の長期自然体験モデル事業。 夏：テント泊や支笏湖までのロングハイキングを実施。 冬：野牛山登頂や冬炊事、スノーシュートラベルを実施。</p>	3泊4日1回、46人 2泊3日1回、38人
参加募集型事業	<p>低学年向け リトルキャンプ 小学1~3年生の集団生活体験のキャンプ。 夏：テント泊や野外炊事、フィールド散策他を実施。 冬：スノーシューを履いての課題解決型アクティビティを実施。</p>	2泊3日2回、89人 1泊2日1回、47人
	<p>お父さんと過ごす週末キャンプ 父と子の触れ合いをテーマとしたキャンプ。夏は民間企業と協力し、支笏湖でのカヌー体験を実施。</p>	1泊2日2回 80人(38組)
	<p>親子 Day キャンプ 親子対象の日帰りの野外活動体験会。</p>	2回 40人(15組)
	<p>自然観察ハイキング ボランティアの方々が講師の自然観察会。</p>	3回 115人
指導者養成講座	<p>子どものための指導者養成事業 ボランティア養成事業。</p>	8回 65人
	<p>専門指導者ワークショップ ワークショップの実施。講師はアメリカ環境教育者のスティーブン・バン・メーター氏。</p>	1回 17人
	<p>ボランティアスタッフ活動 野外、天文、植物、陶芸のボランティア活動。</p>	56回 33人
情報発信・教材開発 ・その他の事業	<p>情報発信 ホームページ、利用の手引き等。</p>	通年
	<p>陶芸体験会 自然の素材を活かした陶芸体験会。</p>	2回 79人(19組)

【利用状況】

(平成22年4月～平成23年3月)

項目		宿泊を伴う利用				日帰り利用		下見等		合計			
		団体数	実利用者数			延利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	実利用者数	
			宿泊	日帰り	補助的 指導者								
学校	幼稚園等 (4歳以上)	21	1,145	23	7	2,320	5	203	18	75	44	1,453	2,598
	小学校	204	16,581	317	1,184	34,663	2	85	135	330	341	18,497	35,078
	中学校	27	2,247	5	14	4,528	8	1,311	23	73	58	3,650	5,912
	高校	7	796	20	2	2,230	0	0	8	24	15	842	2,254
	盲聾養護学校	2	65	0	0	188	0	0	1	4	3	69	192
	専門学校	4	593	16	0	1,291	1	307	4	9	9	925	1,607
	大学	4	194	5	0	393	0	0	2	2	6	201	395
	その他の学校	4	220	2	0	790	0	0	3	9	7	231	799
団体少年	少年団体	69	5,018	192	0	10,388	10	296	27	75	106	5,581	10,759
	青年団体	9	539	65	0	1,391	0	0	5	19	14	623	1,410
親子		6	30	0	0	65	0	0	0	0	6	30	65
官公庁		13	1,216	151	0	3,730	5	414	21	141	39	1,922	4,285
その他		63	2,128	120	1	4,824	16	1,114	49	156	128	3,519	6,094
主催事業		13	399	8	0	1,081	16	297	7	517	36	1,221	1,895
平成22年度 計		446	31,171	924	1,208	67,882	63	4,027	303	1,434	812	38,764	73,343
平成21年度実績		487	31,840	統計なし	統計なし	67,981	86	5,943	291	1,451	864	39,234	75,375
前年比		91.6%	97.9%	/	/	99.9%	73.3%	67.8%	104.1%	98.8%	94.0%	98.8%	97.3%

7) 野外活動課（指定管理事業：定山渓自然の村）

(寄附行為第25条第1~7号に基づく事業)

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
利用促進事業 (新規利用者の獲得)	やさしいシルバー低山登山 従来の自然観察活動に加えて地域の歴史、文化に触れたり、健康を保持増進するための活動等を取り入れた。 ・植物ガイド、春山登山、スノーシューダイビング、ファミリーキャンプなど全5事業	137回 1,900名
交流促進事業 (施設利用者向け・継続参加型)	親子のための野遊びくらぶ 繼続参加可能型の交流促進事業では、幼児とその保護者を対象とした事業で、子育てを通した親子同士の交流や子育て経験豊富な高齢のボランティアと自然体でかかわり合う姿が見られた。 ・緑の中で自由遊び、水生生物等の観察、秋の収穫体験、キャンプファイヤー＆室内レクなど全5事業	102回 6,600名
連携	地域連携事業、自然＆環境ワークショップなど全4事業	6回 297名
人材育成事業	ボランティア事業 施設運営と表裏両面で支える人材育成事業では、各種自然体験プログラムや主催事業時に人材力を発揮できるよう研修会、事前下見、打合せ等を通して活動を支援し、施設運営における市民の当事者意識の醸成を促した。 ・特技を生かしたそば打ち指導、事業参加者の支援活動、特別プログラム支援活動など全4事業	184回 630名
PR	自然体験プログラムの出前事業、プロモーションキャンプなど全4事業	4回 100名
ガイドプログラム	森の工作会、石窯料理体験会など全5事業	460回 9,819名
セルフプログラム	レッソントライアル、アドバイザー料理、わくわくラリーなど全11事業	362回 3,756名
合計		23,102名

【利用状況】	(件)	(人)
区分	件数	人数
宿泊施設の利用総数(a)	4,239	16,291
コテージ	2,169	8,783
テントハウス	816	4,013
テントサイト	1,254	3,495
見学者(b)	—	1,184
総 利 用(a)+(b)		17,475

8) 野外活動課（指定管理事業：北方自然教育園）

(寄附行為第25条第1~7号に基づく事業)

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
農業体験事業 体験農場	「自然との関わり」「仲間との共同作業」を通して「生きる力」を育むため、市立学校・幼稚園に各種農業体験の機会を提供した。	5月～11月 101校 5,068名
自然体験事業	自然観察・採集等の学習（自然ふれあい事業） 動植物の観察及び自然観察、園で採れる食材を生かしたジャム作り等、観察だけでなく「自然を活用する」ことをテーマに親子にさまざまな体験の場を提供した。 自然体験学習機会の提供（自然体験学習会） 季節に応じた農業体験・工作会・自然体験などを提供した。これまで無料だったが、平成22年度から参加料を徴収した。	6月～3月（一部4月） 17回 104家族、299名 5月～2月 12回 187家族、692名
教材用生物の提供事業	学校・幼稚園における自然教育・自然体験学習を支援するために、昆虫・生物等の生物教材を希望により提供した。飼育状況をHPにて配信し、広く情報を提供した。	稻129校 糸瓜208校 蟋蟀193校 蚕157校
自然体験・展示に関する情報収集・提供事業	自主事業 市内幼稚園・各学校の自然体験教育に応えられるよう情報収集は行ったものの、支援活動プログラムの作成及びリーフレット等により提供・配布するまでに至らなかった。	
市民の自主的な活動及び交流支援事業	ボランティア活動の推進として各種ボランティアの募集を行った。また集まったボランティアに対して、自然ふれあい事業等により活動の場所・機会を提供した。	登録人数6人 (野草、薬草、昆虫等の知識の豊富な方)
自然体験や展示に関する相談事業	市民からの自然体験や展示に関する各種電話相談に応じた。 (主に昆虫飼育、ガーデニング等)	相談件数54件

【利用状況】

月	施設利用					体験農場								自然 体験 学習会	自然 ふれあい 事業等	合計		事業								
	学校・園	一般市民			小計	学校・園				小計																
		団体	人数	団体 人数 計		団体	人数	団体	人数	団体	人数	団体	人数													
4 0	0	0	0	147	147	0	147	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	147	0						
5 6	380	3	428	973	1,401	9	1,781	5	170	0	0	0	0	0	5	170	30	123	44	2,074	30 123					
6 26	1,683	9	240	1,048	1,288	35	2,971	9	498	17	1,185	0	0	0	26	1,683	14	49	13	40	75 4,743	27 89				
7 12	685	8	612	758	1,370	20	2,055	1	57	0	0	0	0	9	568	10	625	39	153	20	62	69 2,895	59 215			
8 7	270	4	96	820	916	11	1,186	5	217	0	0	0	0	0	5	217	43	162	79	241	59	1,806	122 403			
9 5	862	6	345	540	885	11	1,747	9	446	4	274	0	0	0	13	720	0	41	91	24	2,558	41 91				
10 23	1,530	4	147	621	768	27	2,298	5	358	8	645	10	527	0	0	23	1,530	11	39	20	40	61 3,907	31 79			
11 1	83	2	61	258	319	3	402	0	0	18	40	1	83	0	0	19	123	9	32	24	63	31 620	33 95			
12 0	0	0	0	105	105	0	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	89	27	63	30 257	57 152				
1 0	0	0	0	97	97	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	28	13	40	9 165	22 68				
2 0	0	0	0	92	22	114	0	114	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13	9	24	2 151	11 37				
3 0	0	0	1	39	86	125	1	125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	83	1	208	23 83				
合計	80	5,493	37	2,060	5,475	7,535	117	13,028	34	1,746	47	2,144	11	610	9	568	101	5,068	187	688	267	747	405 19,531	456 1,435		

9) 市民参画課（指定管理事業：札幌エルプラザ公共4施設）

■札幌市男女共同参画センター

(寄附行為第25条第1~7号に基づく事業)

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
学習機会の提供、学習成果及び指導者等の人材育成	<p>男女共同参画週間講演会 テーマ：「男おひとりさま道」 すべての男性が将来に向けて安心できる環境づくりの準備として男女共同参画を考える機会とした。</p> <p>女性のための再就職準備講座 テーマ：「私らしく働くチャレンジスペース」 再就職準備講座の修了者を対象に、起業を目指す女性の経営ノウハウの蓄積、実務経験の場とすることを目的に実施。</p> <p>ライフプラン講座 テーマ：「カジダン講座」 男女を対象に、生活力を身につけて充実したライフプランを選択できるようになることを目的として実施。</p>	12月4日
		<ul style="list-style-type: none"> ・整理収納コース 10月23日、13名 ・料理コース 10月30日、19名

■札幌市民活動サポートセンター

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
研修学習に関する業務	<p>サロン事業「パワーサロン」 各市民活動団体の情報交換や勉強会をサロン形式で実施し、連携や交流の促進を図ることを目的として実施。</p> <p>ポイント支援講座プログラム① 「プロが教える！イベントチラシ作成の極意」 「広報」をテーマに、効果的なイベントチラシの作成方法を連続講演で行った。 事業終了後も、完成したチラシをエルプラザ内で掲示・他施設に配布するなど、広報を通じた団体支援を継続的に行った。</p> <p>ポイント支援講座プログラム② 「協働企画コース」 市民活動団体と協働で事業を実施し、市民活動に対する理解の促進と市民活動サポートセンターの機能の周知を目的として実施した。 事業参加者は、多様なプログラムへの参加・体験を通して活動を知り、主催団体は活動を伝えるきっかけとなった。</p>	6月9日、11月26日 67名
		10月5日～11月2日 全5回 31名
団体活動支援に関する業務	<p>人材育成事業「まちづくり いっぽ・にほ・さんぽ」 NPO団体とともに地域の基幹施設・団体を訪れ、まちづくり活動が未体験及び機会が少ない方に対し、活動の周知と啓発を進めることを目的として実施した。</p>	12月18日～2月20日 4コース 125名
		3月8日 15名

■札幌市環境プラザ

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
普及啓発企画	<p>環境プラザがやってきた 児童会館をはじめとして直接的体験活動の機会を提供し、市民への環境啓発を行うことを目的として実施。</p>	全 6 回 957 名
環境教育・学習の推進	<p>「対談シリーズ北海道動物の人『林心平×動物の人』」 環境問題に関する意識啓発と解決に向けた行動の喚起を図ることを目的に、一般市民を対象とした対談式の講演会をシリーズで実施</p>	全 6 回 391 名
環境保全活動、交流の支援と推進	<p>「こどもエコクラブ」 次世代を担う子ども達の環境保全に対する意識を高め、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動できる人材の育成を図ることを目的に実施。</p>	全 15 回 16 人

■情報センター

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
学習支援・啓発事業	<p>ブックトーク 自然環境との共生や環境を守るために一人ひとりが出来ることを考える機会を与え、利用者の獲得を目的に実施。</p> <p>別置事業 男女共同参画、市民活動、環境、消費生活の活動分野の特徴と 4 分野の図書室である情報センターの特異性を効果的に PR し、利用者の意識の醸成を図るとともに、職員のレファレンス技術の向上につなげることを目的として実施。</p>	9月 11 日 男女共同参画分野：144 冊 消費生活分野：39 冊 市民活動分野：31 冊 環境分野：35 冊

【利用状況】

区分		施設利用	相談事業	視察・見学	展示コーナー	総合学習	(延べ)
男女共同参画センター	件数	29,654			9		
	人数	360,816	622	230			
消費者センター	件数	3,294			18		
	人数	46,791	13,101	382			
市民活動サポートセンター	件数	22,438			161		
	人数	59,311	643	533			
環境プラザ	件数	2,026			66		
	人数	24,457	103	1,274	20,870	695	
合計	件数	57,412			254		
	人数	491,375	14,469	2,419	20,870	695	
情報センター来館者		36,448					

※消費者センター施設利用、相談事業件数に関しては(社)札幌市消費者協会実施分を含む

※男女共同参画センター前年度施設利用状況 29,589 件／351,561 人(前年度比 102.6%)

(情報センター来館者数は除く)

10) 子ども劇場課

(指定管理事業:子どもの劇場やまびこ座・子ども人形劇場こぐま座)

(寄附行為第25条第1~7号に基づく事業)

事業区分	事業内容	回数・時期・参加人数等
人材育成事業 (大人対象)	東区市民劇団育成事業	67回 1,180名
	人形浄瑠璃体験ワークショップ	2回 98名
	手づくり絵本講習会(一般コース)	1回 15名
	初心者のための舞台照明講座	3回 41名
	劇団育成支援事業	利用区分件数 1,075件
人材育成事業 (子ども対象)	やまびこ座遊劇舎	34回 879名
	劇☆やまびこ座 YOUTH	33回 529名
	ざ・にんぎょうじょうるりユースクラス	25回 388名
	手づくり絵本講習会(子どもコース)	1回 29名
公演事業	夏休み特別公演	10回 1,979名
	第39回札幌人形劇祭	3回 548名
	やまびこ座プロデュース公演	4回 576名
	ざ・にんぎょうじょうるりユースクラス発表会他2公演	3回 487名
地域連携事業	やまびこ座夏まつり	2日間 2,167名
	元町北小学校アウトリーチ事業	13回 1,696名
	読み語りの会	42回 1,289名
その他事業	人形劇公演観劇スタンプラリー	通年 3,673名
	企画展示	12回 1,127名
	利用者懇談会	1回 25名

I こどもの劇場「やまびこ座」

【利用状況】

区分	件数(件)	人数(人)	室利用総人数 45,255
ホール	709	28,892	
会議室	397	3,343	
研修室	487	6,202	
美術工作室	566	6,818	
ロビー・展示室・図書コーナー	—	8,366	
研修・見学	—	804	
総利用	2,159	54,425	

利用件数（前年度 1,926件・前年比 112.1%）

利用人数（前年度 52,901人・前年比102.9%）

II こども人形劇場「こぐま座」

【利用状況（ホール利用内訳）】

	無料(人)	1,216
観劇者数	招待(人)	492
	有料(人)	8,654
	合計(人) ··· (a)	10,362
出演者の数(含むリハーサル)	··· (b)	2,813
出演者観劇者総数	··· (a + b)	13,175
研修・見学	··· (c)	2,276
利用者総数	··· (a + b + c)	15,451
上演回数(回)		212
上演日数(日)		146
仕込み・リハーサル・研修日数(日)		233
上演1回あたりの観劇者数(人)		48.9

利用人数（前年度 18,919人・前年比 81.7%）